

耐震バックチェックにおける地震動評価の今後の予定について

資料2-2

①内陸地殻内地震による地震動が支配的な原子力施設 (活断層の連動を考慮)

- ・北海道電力 泊
- ・東京電力 柏崎刈羽
- ・日本原電 敦賀
- ・北陸電力 志賀
- ・関西電力 美浜、大飯
- ・JAEA もんじゅ
- ・中国電力 島根

②海溝型地震による地震動が支配的な原子力施設 (M9.0を考慮)

- ・東北電力 東通、女川
- ・東京電力 福島第一、第二
- ・日本原電 東海第二
- ・JAEA 東海再処理 等
- ・中部電力 浜岡*
- (・日本原燃 六ヶ所再処理)

①及び②以外の原子力施設

- ・関西電力 高浜
- ・四国電力 伊方*
- ・九州電力 玄海、川内

※中央防災会議での議論を参照

事業者による連動若しくはM9規模を考慮した地震動の策定

従前の耐震バックチェック
で策定した基準地震動 S_s
を上回るか

Yes

No

事業者による新たな基準地震動に基づく耐震安全性評価の実施

【検討対象】

- ①耐震Sクラス及びSクラスに波及的影響のあるB、Cクラス
- ②地盤安定性
- ③斜面安定性

事業者による耐震安全性評価結果の確認及び耐震補強計画の策定

規制当局による確認

耐震バックチェックにおける津波評価の今後の予定について

原子力安全・保安院＋JNES

東北地方太平洋沖地震に係る新知見を踏まえた審査の手引き (津波波源モデルの検討)

【検討内容】

- ・波源域(破壊領域)の大きさ
- ・すべり分布(一様/不均質)
- ・破壊伝播速度
- ・地震発生頻度
- ・津波水位のばらつき
- ・海底地形図 等

【事業者による検討】

- 東北地方太平洋沖地震に係る新知見
- 関係機関による知見
- ・原子力安全委員会による地震・津波に関する指針改定案
- ・土木学会
- ・地震調査研究推進本部 等を考慮

千島・日本海溝沿い

【適用サイト】

- ・東北電力 東通女川
- ・東京電力 福島第一 福島第二
- ・日本原電 東海第二
- ・JAEA 東海再処理

日本海東縁部

【適用サイト】

- ・北海道電力 泊
- ・東京電力 柏崎刈羽
- ・北陸電力 志賀
- ・関西電力 美浜 大飯 高浜
- ・日本原電 敦賀
- ・JAEA もんじゅ
- ・中国電力 島根

東海・東南海・南海

【適用サイト】

- ・中部電力 浜岡
- ・四国電力 伊方

その他の領域

【適用サイト】

- ・九州電力 玄海 川内

事業者による
設計基準津波の
策定

JNESによるクロスチェック

事業者による設計基準津波に対する
浸水を防止する構築物等の安全設計の確認

- ・構築物等が設計基準津波の持つ破壊力に対し、その機能が失われることがないこと。
- ・仮に津波が敷地内へ浸水した場合であっても、燃料の冷却に必要な設備への浸水を防護すること。

各事業者は設計基準津波を超える津波に対する安全が確保されることを示す

規制当局による確認